

県版レッドリスト・レッドデータブック改訂の中間報告

平成 27 年 7 月 29 日

栃木県環境森林部自然環境課

栃木県では、平成 26 年度からレッドリスト・レッドデータブックの改訂作業を行っています。県内の希少な野生動植物等の保全のためには、絶滅の危険度を評価し、生息・生育状況の変化を把握していくことが重要となります。

約 1 年間の改訂作業の中で、貴重な情報も収集されてきたことから、これまでの取組やトピック情報を中間報告としてお知らせします。

なお、本県でのレッドリスト改訂は 6 年ぶり、レッドデータブックについては、13 年ぶりの改訂となります。

1 本県のレッドリスト・レッドデータブックとは

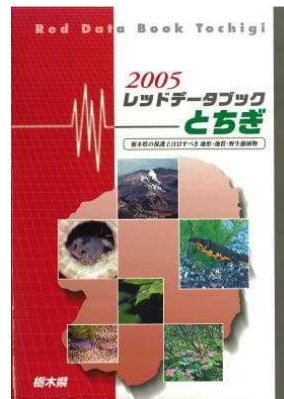
最新の県版レッドリストには、動物・植物・菌類分野で 1,393 種、植物群落で 77 群落、地形・地質で 58 地域がリストアップされています。



栃木県版レッドリスト (2011 改訂版)

レッドリスト

地域に生息・生育する野生生物について、専門家によって生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を評価し、その結果をリストにまとめたもの
(生物多様性センターより)
(※おおむね 5 年ごとに改訂)



レッドデータブックとちぎ 2005

レッドデータブック

レッドリストに掲載された種について、その生息状況等を解説した書籍
(生物多様性センターHPより)
(※おおむね 10 年ごとに改訂)

2 県版レッドリスト・レッドデータブック改訂の状況

- 平成 16 年 8 月 第 1 次レッドリスト策定
- 平成 17 年 3 月 「レッドデータブックとちぎ 2005」発行
- 平成 23 年 3 月 第 2 次レッドリスト策定



- 平成 26 年 6 月～ 改訂作業開始
- 平成 29 年 3 月 第 3 次レッドリスト策定・公表予定
- 平成 30 年 3 月 「レッドデータブックとちぎ 2018」発行予定

環境省の改訂状況

環境省版のレッドリスト及びレッドデータブックは、分類群ごとに策定・発行時期が異なる。

- 平成 24 年 8 月～平成 25 年 2 月 第 4 次レッドリスト策定
- 平成 26 年 9 月～平成 27 年 8 月 レッドデータブック 2014 発行

3 これまでの取組

これまで、各分野の学識経験者等で構成されている「栃木県版レッドリスト改訂専門委員会」を3回開催しました。

また、前回のレッドリスト改訂以降に蓄積された情報の収集や現地調査等を実施してきました。

これまでの取組によって、栃木県内で新たに発見された種や、数十年ぶりに再発見された種、逆に近年観察例が減少している種などの情報が得られています。

主なトピック情報は、以下のとおりです。

<主なトピック情報>

ホンゴウソウ



栃木県では1938年以来確認されず、絶滅したと考えられていましたが、約80年ぶりに再発見されました。

クロシジミ



栃木県では、1995年に那須町で目撃されたのを最後に、絶滅が心配されていましたが、2011年に再発見されました。

ワタラセツリフネソウ



渡良瀬遊水地で発見され、近年、新種として発表されました。
宇都宮市、下野市、上三川町でも確認されています。

4 今後のスケジュール

レッドリストについては、平成28年度末の改訂・公表に向けて、今後も改訂専門委員会での検討及び希少種等の調査を進めます。

レッドリスト掲載種について解説したレッドデータブックについては、平成29年度中に作成し、発行する予定です。